

下妻市定例教育委員会（令和５年１２月２５日）会議録

１．開催日時	令和５年１２月２５日（月） 午後３時００分 開会 午後４時３０分 閉会
２．開催場所	下妻市役所本庁舎 ３階 会議室３－２
３．出席委員	教 育 長 中山 均 教育長職務代理者 齊藤 修一 委 員 青木 明美 委 員 赤荻 由美 委 員 山口 政志
４．委員以外 の出席者	教育部長 横瀬 哲彦 教育部参事 圓崎 佳江（欠席） 学校教育課長 國府田 聡 生涯学習課長 佐久間 秀樹 図書館兼公民館長 吉 川 淳 学校教育課長補佐 板橋 孝子 学校教育課係長 高崎 みゆき
５．議事録署名人	齊藤 修一委員
６．協議事項 及び研修	（１）下妻市教育支援センターの設置及び管理に関する条例施行 規則の制定について
７．議事の概要	
教育長	定例の教育委員会を始めたいと思います。今回の議事録署名人は、 齊藤委員さんをお願いします。
齊藤委員	よろしくお願いします。
教育長	【教育長から報告】 ・山口教育委員の任期について ・後任の委員について それでは、各課からの報告をお願いします。 学校教育課から、お願いします。

國府田課長	<p>【学校教育課から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校合同英語フォーラムの開催について ・中学校3年生の英語力調査について ・下妻市の鯨工業団地に立地したエスティローダーの協力を受け「英語と君の未来セミナー」と題した英語関連の事業について ・阪神タイガースの大山選手の観光大使就任式について ・人型ロボット・ペッパー君活用授業の視察について
教育長	生涯学習課からお願いします。
生涯学習課長	<p>【生涯学習課から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスコンサートについて ・下妻中学校の校歌について（茨城新聞に記事掲載）
教育長	公民館図書館からお願いいたします。
図書館兼公民館長	<p>【公民館・図書館から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつりの開催に向けての準備について ・図書館の特別整理期間について
教育長	では、議案第35号下妻市教育支援センターの設置及び管理に関する条例施行規則の制定について、事務局からお願いします。
学校教育課長	【資料により説明】
教育長	ご質問等ありましたらお願いします。
齊藤委員	この規則は、今までにはなく、新たに作った形ですか。
学校教育課長	教育支援センターは、スクールサポートセンターというものが指導課の中にあるという形で、指導課の内部の一組織でした。今度は、教育支援センターという公の施設として、独立して位置づけられたというものです。今までは、開所時間や休所日というのは、指導課の職員と同じ勤務体系というような形だったのですが、今度は正式な公の施設として、こういった時間帯、こういった日に開所し、運営するということで定めた形になります。今は千代川庁舎の跡地の

	<p>近くで運営していますが、２月ぐらいから引っ越しを進めていて、４月１日には正式な公の施設という位置づけとなります。</p>
齊藤委員	<p>位置づけを整理したということですね。</p>
赤荻委員	<p>新センターが開所予定ですが、現在も何名かのお子さんが、通所しているというのを聞いています。そのお子さんたちは基本的には下妻の公立の学校に所属してと思いますが、夏休みや冬休みなど、学校が休みのときに、このセンターが開いていれば、不登校のこととは関係なく、何か相談に來たいというときには、受け入れるということなののでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>今までとやり方が変わる訳ではないので、夏休みも引き続きセンターもやってますし、相談業務も受けますし、子供たちも来るような形かと思います。</p> <p>具体的な運営方法等、ある程度、固まっていれば次回等に指導課からご説明させていただくよう伝えさせていただきます。</p>
教育長	<p>学校の休業日、夏休みとか、冬休みの休業日であっても職員は勤務日になっていますので、受け入れているという状況です。</p>
赤荻委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
教育長	<p>その他いかがでしょうか。ご承認いただけるということで、よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p>
委員	<p>【承認】</p>
教育長	<p>委員の皆さんから、ご質問等ございましたらお願いします。</p>
齊藤委員	<p>図書館の件です。以前会議の中で、資料の紛失や所在不明になったものなど、説明があったかと思いますが、現在はどうのような状況でしょうか。</p>
図書館兼公民館長	<p>昨年、ＣＤの件数が、蔵書点検の際に、所在不明のものがありました。現状では、一旦、中身のＣＤは全部引き揚げまして配架の方法を変えました。従来は、ケースにＣＤが入った形で並べていたもの</p>

	<p>をジャケットケースだけ並べて、中身はバックヤードに置くという形で全て配架をしておきました。貸し出しは再開をしているという状況でございます。また年明けに点検をやりたいと思います。</p>
教育長	<p>青木委員さん。</p>
青木委員	<p>先日、マーチングバンドの指揮をやられている先生のお話を聞く機会がありました。マーチングをやりたいくて、いろいろと集まってきたこと、他から来てくれる生徒さんもいるというお話でした。マーチングを聞かせていただき、部活を一生懸命やってらっしゃるのはいいなあと思ったことがありました。部活動は、今後どうなっていくんだろうと考えました。</p>
教育長	<p>部活動については、地域部活動への移行期間ということで、将来的には、学校の部活動が地域のクラブの方に移行していくというところで舵を切ったところです。種目によっては、クラブというところで活動しているものも出てきました。行政の方は、その種目の実態に応じて少しずつ移行を考えているところです。今年の2学期は、剣道部が地域のクラブに移行するというところで決まったところです。学校の部活動、全くやらないかというところではなくて、平日は学校、休日は地域のクラブというところがしばらく続くと思っています。</p>
青木委員	<p>人数によっては、合同チームとかにならざるをえないですね。</p>
教育長	<p>少子化のあおりを受けている種目も実際、出てきています。そこは学校単位じゃなくて、地域単位で活動していくという、これは自然な流れになっていくのかなと思います。また、難しいなと思っているのは、勝利至上主義からの脱却をしていかないと、これは解決していかない問題なのかなと。その種目をやってる以上は勝ちたいのは当たり前なんですけども、その勝利至上主義、それだけが部活動の目的になってしまうと、例えば、合同にしたとき、自分の子供は選手になれないということが現実としては出てくると思うんですね。そうだったら少ないところでやってた方がいい、勝ち負けにこだわってしまうとクラブの移行にはいかない状況にもなってしまったということで、そのあたりが、保護者や子供たちの考え方というのを時間をかけて、スポーツとか、活動を楽しむというところに</p>

	<p>もっていければと思います。現在、例えば、高校入試で、スポーツ推薦というのは、今も制度として残っていますので、一概に勝利至上主義から脱却しようといっても、制度が残っている以上は、いい大会でいい成績を残してという思いがあると思います。制度的な改革がされないままに移行するというのはすごく難しいことかなとも思います。</p>
青木委員	<p>やってくださるという熱い先生もいる訳ですね。</p>
教育長	<p>教員の中にも、部活動がやりたくて教員になったという先生も实际います。そういう先生は、兼業の届けを出してもらって、クラブでやるということになってくると思っています。当然そこには、お金は発生します。学校の教員ではなくて、地域の一人としての立場で、クラブに関わってもらうことになってきますので。そのお金を誰が出すのかというと、国では、あくまでも受益者負担の保護者が、そこは出すべきだということで、その理解を得るのもまた大変かなと思っています。下妻市は、少しずつ移行していこうということで、剣道部が今度、クラブを作るんですけども、そこは受益者負担ではなくて、市の方で予算取りをしています。なので少しずつしかできないというのが現状ですね。今、クラブと部活が混在している状況なので、いろいろ課題があり、保護者の理解を得るのにも、もう少し時間が必要なのかなと思っています。</p>
青木委員	<p>ありがとうございます。部活と学校統合と、大変ですがよろしくお願いします。</p>
教育長	<p>赤荻委員さん、お願いします。</p>
赤荻委員	<p>私からは、先ほどの生涯学習課の事業のクリスマスコンサートの件です。今回は、スマートフォンでの申し込みができて、すごく便利になったと思います。スマホですぐ申し込みできて、回答もすぐ来たとし、入場するときは、それを見せればいいという形で、とても市民にとって、利便性があがったと思います。</p>
教育長	<p>山口委員さんからは、退任のご挨拶をお願いします。</p>
山口委員	<p>【退任の挨拶】</p>

教育長	大変お世話になりました。 では、事務局から。
学校教育課長	【事務局からの連絡】 ・ 次回の定例会について
教育長	以上を持ちまして、定例の教育委員会を終了といたします。